広報 水巻

3月20日（1970）

■No. 261■

毎月1回各家庭に配布

発行所　福岡県遠賀郡水巻町役場　発行人　伊藤衛門　編集人　広報編集委員会（総務課）　印刷所　冷牟田印刷合資会社　電話（代表）㊾0536

町の人口
（45年1月末現在）

人口	27,385
男	13,366
女	14,019
世帯数	7,422

前月との比較
人口△111　世帯△32

3月31日で時効　引提者特別交付金

引揚者特別交付金の請求の手続きをされましたか。45年3月31日までに請求をされませんとその後からは請求されません。請求の手続きをしていない人は今すぐ役場住民課で手続きをしてください。手続きの方法やくわしいことは住民課の係へ遠慮なくおたずねください。

議長に栗川正雄氏

議会構成決まる

副議長　高橋次生議員
町監査委員　小柳重年議員

2月22日に行なわれました、水巻町議会議員補欠選挙で、新議員に新川隆昌、白石磯久男の議員を選びました。

3月3日に昭和45年第2回定例議会が開催され、議長に栗川正雄、副議長に高橋次生、町監査委員に小柳重年の各議員を選出しました。

水巻町長　伊藤衛門

就任にあたり町民のみなさまにごあいさつと同時に、わたくしの将来の重点施策について述べたいと思います。

前西尾町長の急逝により去る2月22日に行なわれました選挙の結果、不肖わたくしが町長に選ばれました。

ご承知のとおり政治経験に乏しいわたくしが町長という重席につき、いまさらながらその責任の重大さを痛感し、誠意をもって町政推進にあたる覚悟を新たにいたしております。

町政の実施にあたっては、公約で申し上げたごとく良識による清潔、明朗で公平な住民のための政治を行ないたいと考えております。

良識による清潔で明朗な政治を

足元道路の整備と公営住宅の誘致など

水巻町長　伊藤衛門

最近、町村特にエネルギー革命後の疲弊した産炭地域町村の共通した悩みと思われますが、財政力の低下に逆比例して住民の自治体に対する行政需要はますます高まり、その全部を満すことはとうてい不可能と考えられる状態であります。

この点を町民のみなさまにはじゅうぶんご理解していただき御協力をお願い致します。以下行政の方針について説明を致したいと思います。

一、土地基盤整備について

鉱害復旧の促進、道路特に足元道路の新設改良及び舗装化。

堀川、曲川及び中小河川を整備して住みよい町にする。

二、民生安定の施策について

吉田改良住宅の建設、公団、公社、県営など公営による住宅の誘致などに力を注ぎ居住の安定を図る。

福祉施設などについては整備に努力し安心して働けるようにし、続き踏襲しその完成を目指して努力致します。

前町長が「明るい住みよい勤労者の町づくり」のために重点的に実施された事業については、引

民のみなさまのご協力を得て、職責を全うする所存であります。

町議会議長の重責を任せられることになりました。

議長就任にあたり町民のみなさまに一言ごあいさつ申し上げます。

議会議長　栗川正雄

議会の円満な運営と住民福祉の優先

議会議長　栗川正雄

三月四日の本会議において、議員各位のご推せんによりまして、もとより、浅非才なわたくしでありますが、議員各位をはじめ町民によって行政的にも、また財政的にも重大な時期であります。

ご承知のように本町は炭礦斜陽なお老人、身障者、児童対策についてはじゅうぶん配慮する考えであります。

三、産業の振興について

都市近郊における中小商工業の経営については色々な苦労もあると思われますので、その指導育成については、今後の町づくりとタイアップして推進して行きたいと考えております。

農業については米生産による減反問題など真剣に取り組み、都市近郊の利点をじゅうぶんに生かせる経営指導を強化します。

なお企業の誘致については本町の誘致条例に基づく公害のない、しかも中心企業になりうる企業を誘致したいと考えております。

四、教育施設の整備について

基地周辺民生安定法をじゅうぶんに活用した計画に基づき、従来の方針通り教育施設の整備を図り、又教育の内容についても教育委員会とじゅうぶん協議し、その向上を図る所存であります。

五、右に述べた重点施策の実施にあたっては財政力の確立の必要は申すまでもありません。したがって内には税制の確立、冗費の節約をはかると共に、外に対しては国県補助金の増額要請、特に交付税の増額については積極的な姿勢を示し、健全財政の確立に努力致す所存であります。

町長就任にあたりわたくしの所信の一端を述べましたが、この目的達成には幾多の困難があると思いますので、町民みなさまのご理解とご協力の程を切にお願い致します。

新議員のかおぶれ

みなさんから選ばれ、これから一年余、水巻町議会議員としてつとめる新議員をご紹介いたします。

（立候補届出順）　はじめから氏名、年令、議員以外の職業、住所、所属党派、元現新別、当選回数、所属委員会

新川隆昌（しんかわたかまさ）
53才　会社員　高尾区　無新
当1　総務財政委員会

白石磯久男（しらいしきくを）
42才　商業　吉田一　無新
当1　民生文教委員会

隣組単位の納税組合を

共かせぎ家庭の増加のため自主納税が困難になりました。解決策として隣組を単位とした納税組合をつくりたいと思っております。納税組合の利点は次の表のとおりです。詳しくは財政課徴収係までお問いあわせください。

計算例

区分＼種別	納期内完納組合	年度末完納組合	年度末未納組合
① 納税戸数	20戸	20戸	20戸
② 納税金額	50,000	50,000	50,000
③組合長手当	1,000	1,000	1,000
④ 世帯割	20戸×100 2,000	20戸×100 2,000	20戸×100 2,000
⑤ 100分の4の額	50,000×4/100 =2,000	40,000×4/100 =1,600	40,000×4/100 =1,600
⑥ 年度末未納額	0	0	5,000
⑦ 完納報償金	5,000×1/100 =500	50,000×1/100 =500	0
③＋④＋⑤＋⑦ 計	5,500	5,100	4,600

※②の納税金額は納税組合員が納めるすべての税金の合計です

無縁墳墓の改葬について

- 墓地所在地　金沢市野田町野田山
- 墓地名　市営野田山墓地
- 届出期日　昭和45年5月31日
- 届出先　石川県金沢市広坂1丁目1番1号　金沢市役所厚生部衛生課
- 墓地の所在地　福岡県嘉穂郡桂川町大字土師字松ケ浦9百42
- 届出期限　昭和45年4月30日
- 連絡先　福岡県嘉穂郡桂川町土居4百21番地3　桂川町役場民生課
- 墓地の所在地　福岡県八女郡立花町大字山崎字倉谷5百73
- 届出期限　昭和45年4月4日
- 連絡先　福岡県八女郡立花町大字原島95の1　飛形土地改良区理事長小塩一
- 墓地の所在地　福岡県田川郡方城町大字伊方4786番地
- 届出期限　昭和45年4月30日
- 届出先　福岡県田川郡方城町大字伊方4448 12　方城町役場総務課
- 墓地の所在地及び名称　高松市桜町2丁目7百34　柳三味墓地。高松市桜町2丁目千97　柳三味北墓地
- 届出期限　昭和45年3月31日
- 届出先　高松市番町1丁目8番15号。高松市建設部都市計画課

県立小倉、直方聾学校では次の要領で入学者を募集しています。

一、入学資格
㋑満3才以上になった人。
㋺耳の聞えが悪く、普通の学校では学習困難な人。

幼稚部（2年間）、小学部（6年間）、中学部（3年間）
高等部（3年間）

二、入学者には国の補助金がでます。

三、申し込み期日　3月31日まで

入学の手続き、その他くわしいことは町教育委員会（㊾0403）、小倉聾学校（㊷3600）、直方聾学校（㉕3351）へお問い合わせください。

《入学者募集》

みずほ団地分譲住宅 購入者募集

- 建設場所　遠賀郡水巻町大字伊佐座
- 受付期間　3月23日～3月27日　午前10時～午後4時
- 受付場所　水巻町役場管財課住宅係
- 抽選日時　場所　4月2日　午後1時　町役場別館
- 募集戸数　40戸
- 入居予定　5月中旬頃
- 申込書　1部50円

※　案内書は次の所にあります。
- 水巻町役場住宅係
- 八幡区役所市民相談室

入所児募集　町立保育所

町立保育所では次のとおり入所児を募集しています。

○第1保育所（頃末）　3才児以上　10人
○第3保育所（古賀区）　3才児以上　20人

○受付場所　役場住民課及び福祉施設課

※　保育所へ入所できる幼児には、いろいろな条件がありますので福祉施設課（㊾4191）まで直接問い合わせてください

つつしんでおくやみもうしあげます

つぎの方から香典返し、全快祝返しにかえ多額の金品を社会福祉協議会にご寄贈いただきました。

ここに厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。

故日吉照久様（築上郡）日吉守夫様、故大庭勇様（古賀県住）大庭ハツエ様、故松尾達次郎様（折尾大膳）松尾藤夫様、故石橋キクヨ様（頃末商工会）大山節子様、故矢野俊次様（猪熊）矢野峻様、故永沼満様（伊佐座）永沼英和様、故大原フデ様（猪熊町住）大原ハルエ様
全快祝　吉田喬様（下二）、赤星賢正（丸ノ内）

郵便番号は住所の一部です。お忘れないように。